

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1番1号 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会 発行責任者／戸田 茂
URL: <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>

後援会会長・学部長等挨拶	1～3	就職活動と支援・就職状況	8～9
卒業式	3	進学先・就職先一覧	10～11
入学式	4	資格取得等報奨制度	12
学生活動だより	4	令和2年度決算・後援会総会	13
入学状況	5	令和3予算年度・役員名簿	14
大学紹介	6～7	令和3年度学年暦・行事	15～16

会長挨拶 後援会会長 戸田 茂



戸田後援会会長

大学生になると、保護者の皆様には相談をしてくる機会が少なくなります。これは自律への過程なのですが、今のような状況下では不安になることが増えていると思います。

特に離れて暮らしている保護者の皆様には、今では少なくなった『肉筆のさり気ない内容の手紙』をお勧め致します。学生諸君にはサブライズにもなり、行間を読んでもくれるでしょう。彼等の宝物になるかもしれません。このことで一層絆が強くなれば幸いです。

大学側の相談体制は整っています。充実したキャンパスライフを送ることのできる大学です。ホームページを是非ご覧いただいで学生諸君と情報の共有をされますように。

学長挨拶 竹村彰通

〈未来創生大学に向けて〉



竹村学長

データサイエンス学部設立に4月に滋賀大学に就任して以来データサイエンス学部の設立と

データサイエンス学部長挨拶 椎名 洋



椎名学部長

今年の4月からデータサイエンス学部の学部長を拝命いたしました。後援会の皆様には、常日頃から暖かい御支援を賜り、お陰様で彦根キャンパスの学生生活の質の向上が少しずつ実現できておりますこと、改めてお礼を申し上げます。今年の3月に第二期の卒業生が、IT・情報分野のみならず、製造業、金融業等の幅広い分野へと飛び立っていきましましたが、今後の活躍が楽しみです。データサイエンスを学びたいという高校生、大学生、社会人が年々増加しておりますが、これに胡坐をかきたくない、学部の発展のために努力していきたいと考えております。

経済学部長・大学院経済学研究科長挨拶 中野 桂



中野経済学部長

平素より滋賀大学経済学部・経済学研究科の教育研究にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。コロナ感染症の流行も3年目を迎え、良し悪しは別として、学生も教職員も順応してきているようです。まだ若干の活動制限はあるものの、キャンパスにも賑わいが戻ってきています。滋賀大学経済学部は来年度に設立100周年を迎えます。今年11月には東京でキックオフのための記念フォーラムの開催も予定しています。これまでの100年、そしてこれからの100年を見据えて、時代の先取りをした教育研究を展開できるように教職員一同様々な努力を積み重ねております。

大学院データサイエンス研究科研究科長挨拶 清水 昌平



清水研究科長

2019年4月にスタートしたデータサイエンス研究科博士前期課程も4年目となり、2020年4月に開設した博士後期課程も本年度で完成年度を迎えます。さらに、昨年12月には、文部科学省「数理・データサイ

エンス・AI教育の全国展開の推進」拠点校にも選定され、当該分野を牽引する人材養成をミッションとしていきます。本学はデータサイエンス教育研究拠点として国内最大規模の多様な領域の教員・研究者を擁しており、今後も全国のデータサイエンス・AI教育を先導し、社会で即戦力となるデータサイエンティストの育成を推し進めていきます。

経済学部副学部長挨拶

総務・企画担当 金 秉 基



金副学部長

学部改組と数理・データサイエンス・AI教育プログラムを担当しています。来年度において、現行の5学科を1学科に統合し、3専攻2コースへ再編する構想の実現に向け、現在、鋭意準備を進めています。これまでは受験時に学科を選択する必要がありましたが、改組後は幅広く教養科目や基礎科目を学んだ上で、3回生進級時に専攻を選択することになります。社会が求めている人材育成に向けた学部改組を進めていきます。

学務・学生生活担当 坂野 鉄也

コロナ禍中の大学生活も三年目となりましたが、過去二年の経験を踏まえ、その授業方法に変化が生まれつつあります。一番の変化は、授業



坂野副学部長

の内容や性質を踏まえ、オンライン授業が望ましいものと対面授業すべきものとを弁別し、学生の学びに効果的な方法によって授業をおこなうようになりつつあることです。ポスト・コロナを見据えた新たな段階に入っています。

入試・広報担当 能 登 真規子



能登副学部長

大学入学共通テストへの移行後も、高等学校学習指導要領の改訂や新科目「情報」の導入等、改革の波は止まないようです。滋賀大学経済学部は、異なる評価尺度の多様な入学者選抜を行いつつ、一貫して、論理的思考力と表現力に優れた学生を受け入れ、各人を知の探求と創造に導いてまいります。皆様には今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大学院経済学研究科副研究科長挨拶

小野 善生

リカレント教育やDX化に向けた人材育成の重要性が増している今日、本研究科におきましても社会的ニーズに応えるべく「ビジネス・



小野副学部長

データサイエンス専修プログラム1年制社会人コース」を導入しました。積極的なPR活動によって志願者を募り、優秀な人材を輩出するというミッションを遂行すべく最善を尽くす所存です。ご支援賜りますようお願い申し上げます。

データサイエンス学部副学部長挨拶

総務・企画担当 佐藤 正昭



佐藤(正)副学部長

昨年度から引き続き、総務・企画担当を拝命しております。この4月からは、第4期中期計画・中期計画に基づいて、大学運営が行われており、Society 5.0時代を牽引するデータサイエンス分野において、全国的な教育研究拠点となることが求められているところから、教育の質保証の面にも注力しながら、滋賀大学の務めを果たしてまいります。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

学務・学生生活担当 市川 治

昨年度より引き続き学部学生の学務と学生生活を担当いたします。データ



市川副学部長

サイエンスへ深化する社会に対応するため昨年から開始された新カリキュラムも順調に稼働しています。卒論発表会では、企業や公的データを使用した発表が多くみられ、社会とのつながりを一層深めています。引き続き本学学生へのご支援をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

入試・広報担当 飯山 将晃



飯山副学部長

本年度、入試・広報担当副学部長を拝命いたしました。令和7年度入試から共通テストにて科目「情報」が課せられ、また来年度も関西の大学でデータサイエンス学部の新設が予定されるなど、状況も刻々と変わってきております。そのような状況の中、日本初のデータサイエンス学部を有する本学の更なるプレゼンス向上に向けて入試制度をより良くしていきたいと思っております。

大学院データサイエンス研究科副研究科長挨拶

佐藤 智和

データサイエンス研究科では、博士前期課程学生の4割弱が派遣社会



佐藤(智)副学部長

人であるというデータサイエンス学部の独自性に対応し、ほとんどの講義がオンライン参加と対面参加を選択可能なハイブリッド方式であるという特色があります。今年度はいよいよデータサイエンス学部1期生の内部進学生が修士2年となり、学部からの一連の学びの成果が結実することとなります。本学学生の今後の活躍に期待ください。

令和3年度卒業式

3月25日、滋賀大学卒業証書・学位記、大学院研究科学位記、特別支援教育専攻科修了証書授与式を挙行了しました。

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3会場（教育学部・大学院教育学研究科・特別支援教育専攻科はびわ湖ホール、経済学部・大学院経済学研究科はひこね市文化プラザ、データサイエンス学部・大学院データサイエンス研究科は本学講堂）に分かれて挙行され、式典への参加は卒業生及び修了生のみとなりましたが、保護者の方等へはライブ配信を行いました。

今年度は、教育学部233名、経

済学部451名、データサイエンス学部92名、大学院教育学研究科修士課程24名、大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）17名、大学院経済学研究科博士前期課程23名、大学院データサイエンス研究科博士前期課程20名、特別支援教育専攻科10名、大学院経済学研究科博士学位記授与者2名の合計872名が本学を巣立ちました。

それぞれの会場で位田学長から学部、大学院、専攻科の代表者への卒業証書等の授与に続き、学長式辞で卒業生へはなむけの言葉が贈られ、続いて在校生代表からお祝いと感謝の言葉、また、卒業生代表から今後の決意と教職員、在校生への感謝の言葉が述べられました。データサイエンス学部の卒業式が挙行された講堂では、竹村彰通学部長によるピアノの生演奏（曲目…幻想即興曲（シヨパン））で卒業生を送り出しました。



竹村学部長によるピアノ演奏

各会場では、学業成績優秀者学長賞表彰も行われ、教育学部、経済学部、データサイエンス学部において在学期間中に最も優れた学業成績を挙げた3名に、位田学長から表彰状と記念品が贈られ、その努力と成果を称えました。



講堂での式の様子

なお、卒業式におきましては、学部、大学院、専攻科から特に学業成績が優秀だった方が代表者として卒業証書等の授与を受けるとともに、学部において在学期間中に最も優れた学業成績を挙げられた方は学業成績優秀者学長賞の表彰を受けられることとなっています。

代表者及び学業成績優秀者に選ばれることは、非常に名誉なことでありますとともに、それぞれの方々の不断の努力に敬意を表しまして、以下にご紹介させていただきます。

卒業証書等授与代表者

（彦根キャンパスの学生のみ）

経済学部

経済学科

木村 颯快

データサイエンス学部

データサイエンス学科

中川 順之亮

大学院経済学研究科

博士前期課程経営学専攻

プロフェッショナルコース

張 雅婷

大学院データサイエンス研究科

博士前期課程 データサイエンス

専攻 日野 佑美

大学院経済学研究科

博士後期課程 経済経営リスク専攻

翟 唯揚

李 曉黎

学業成績優秀者学長賞表彰者

（彦根キャンパスの学生のみ）

経済学部

経済学科

今津 玲哉

データサイエンス学部

データサイエンス学科

相田 航

令和4年度入学式

4月4日、大津市の「びわ湖ホール」で令和4年度滋賀大学入学式を挙行しました。今年度は、教育学部239名、経済学部500名、データサイエンス学部104名、大学院教育学研究科専門職学位課程27名、大学院経済学研究科前期課程22名、大学院経済学研究科博士後期課程4名、大学院データサイエンス研究科博士前期課程46名、大学院データサイエンス研究科博士後期課程5名、特別支援教育専攻科9名の総計956名が、学生生活の新しいスタートを切りました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も学部（3学部を2グループ）と大学院・専攻科に分散して開催するとともに、式典の参加は新入生のみとし、同時に式典のライブ配信を行いました。

式典は入学者宣誓、学長式辞、在学生による歓迎の辞、役員紹介の順で進行しました。各回の入学者代表による宣誓で「学則を守り学生の本分を尽くすこと」を誓った後、竹村学長から「皆さんが滋賀大学で学ぶなかで、自分と社会の未来につい

て考え、未来を切り開く人材に育ってくださることを願っています」と式辞がありました。続いて在学生からは歓迎の言葉が述べられ、入学を祝しました。

入学生は、これから始まる大学生活への期待に胸を膨らませていました。



学長式辞



誓詞を学長に手渡す入学者代表

学生活動だより

令和4年3月23日、彦根キャンパス学長室において、令和3年度第2回滋賀大学学長賞授与式を挙行了しました。

授与式では、学生支援課長より選考結果の概要について説明があり、位田学長より経済学部の長谷川穂波さん、藤田了子さん（2名ともボート部）、福井新大さん（空手部）の3名に表彰状と盾、副賞が授与されました。



学長と受賞者の記念撮影

授与の後、学長から祝辞があり、受賞者から謝辞が述べられました。学長との記念写真の撮影の後、学長と受賞者が懇談する場が設けられ、長谷川さん、藤田さん両名の苦しかった時の苦労話や仲間の応援について、福井さんの連覇を達成するま

での努力等について、時間を忘れるほど終始和やかな懇談でした。

最後に学長から、「社会人になっても、今後の皆様のさらなる活躍に期待しています」とエールが送られました。

なお、このたびの受賞理由は以下のとおりです。

経済学部

- 長谷川穂波、藤田了子
- 第99回全日本選手権大会兼
- 第48回全日本大学選手権
- （漕艇部）女子ペア 3位

経済学部

- 福井新大
- 全国国公立大学空手道選手権大会
- 男子個人形競技 優勝

2年連続優勝の快挙です！



藤田選手(左)と長谷川選手(右)

令和4年度 入学状況

入学試験状況

学 部 名	定員	志願者	受験者	合格者	入学者	
経済学部	中間主コース	410	2,382	1,463	497	419
	夜間主コース	50	99	95	59	48
	3年次編入	20	80	80	33	28
データサイエンス学部	100	371	285	116	104	

【大学院】

研 究 科 名	定員	志願者	受験者	合格者	入学者	
経済学研究科	博士前期課程	32	44	35	22	22
	博士後期課程	3	9	9	6	4
データサイエンス研究科	博士前期課程	40	66	66	52	46
	博士後期課程	3	6	6	6	5

滋賀大学入学者一覧

経済学部		495(*)	
データサイエンス学部		104	
教育学部		239	
大学院	経済学研究科	博士前期課程	22
		博士後期課程	4
	データサイエンス研究科	博士前期課程	46
		博士後期課程	5
	教育学研究科	教職大学院	27
特別支援教育専攻		9	
入学者合計		951(*)	

* マレーシア政府派遣留学生等5名は外数

都道府県別入学者数

【経済学部(3年次編入は除く)】

北海道	2	0.4%	静岡県	3	0.6%	岡山県	11	2.4%	沖縄県	3	0.6%
茨城県	2	0.4%	愛知県	60	12.9%	広島県	5	1.1%	留学生	9	1.9%
栃木県	1	0.2%	三重県	15	3.2%	徳島県	3	0.6%	その他	1	0.2%
埼玉県	1	0.2%	滋賀県	64	13.7%	香川県	6	1.3%			
東京都	4	0.9%	京都府	53	11.4%	愛媛県	8	1.7%			
神奈川県	4	0.9%	大阪府	61	13.1%	高知県	2	0.4%			
富山県	3	0.6%	兵庫県	42	9.0%	福岡県	5	1.1%			
石川県	7	1.5%	奈良府	19	4.1%	長崎県	3	0.6%			
福井県	11	2.4%	和歌山県	3	0.6%	熊本県	1	0.2%			
長野県	1	0.2%	鳥取県	5	1.1%	宮崎県	4	0.9%			
岐阜県	42	9.0%	島根県	2	0.4%	鹿児島県	1	0.2%	合計	467	100.0%

【データサイエンス学部】

福島県	1	1.0%	福井県	1	1.0%	兵庫県	10	9.6%	福岡県	4	3.8%
茨城県	1	1.0%	岐阜県	3	2.8%	奈良県	3	2.8%	宮崎県	1	1.0%
栃木都	1	1.0%	静岡県	3	2.8%	鳥取県	2	1.9%	鹿児島県	1	1.0%
埼玉県	1	1.0%	愛知県	5	4.8%	広島県	1	1.0%	沖縄県	1	1.0%
東京都	3	2.8%	三重県	1	1.0%	徳島県	1	1.0%			
神奈川県	1	1.0%	滋賀県	21	20.2%	香川県	2	1.9%			
富山県	2	1.9%	京都府	19	18.3%	愛媛県	1	1.0%			
石川県	5	4.8%	大阪府	8	7.6%	高知県	1	1.0%	合計	104	100.0%

大学紹介

経済学部の現況

経済学部長 中野 桂

〈入学選抜の状況〉

今年度の経済学部入学人数は昼間主が418名(定員410名)、夜間主が48名(定員50名)となりました。また3年次編入は28名(定員20名)でした。

昨年度から前期日程の入学定員は150名から172名に、後期日程の入学定員は200名から150名に変更になっています。この前期日程と後期日程を合わせた一般選抜の定員322名に対して、志願者数は2217名(昨年度2376名)で、受験者数は1303名(同1259名)、合格者数は411名(同397名)でした。受験者数に対する合格者数でみた倍率は、前期日程の国外型で4.4倍(昨年度3.3倍)、数外型で3.0倍(同2.0倍)でいずれも昨年度を上回りました。一方、後期日程の国外型で3.1倍(同3.7倍)、数外型で2.3倍(同3.9倍)となり、昨年度より下がりまし。今年の入試では前期試験で進学先を早く決めてしまいたいという受験者側の心理が働いて

いたのかもしれない。導入初年度となった昨年度の総合選抜では志願者が低迷をしましたが、今年度は志願者数も増えてしっかりと選抜を行うことができました。

博士前期課程は、定員32名に対して44名(昨年度57名)の志願者があり、入学者は22名(同21名)となりました。このうち1名は今年度から新しく始まった社会人向けの1年制コース「ビジネス・データサイエンス専修プログラム」の学生でした。博士後期課程は定員3名のところ、9名(同3名)の志願者があり、4名(同3名)が入学し、昨年に続き定員を満たしました。

〈新型コロナウイルス感染症への対応など〉

今年度も対面授業を原則とするという形でスタートしています。教室については、一列ごとの配置とし、学生がどこに座ったかを全ての対面授業で記録しています。

学生の感染者について特に第6波では多い時には週に10名を超える感染者が出たこともありましたが、幸いにも授業中における感染が疑われるケースはほとんどなく、多くは部活の前後における会食等が感染の機会となったと思われるものでした。

経済学部では今年度の入学生から、ノートパソコンを必携としました。新型コロナウイルスによる影響が既に3年目ということもあり、新入生に対

するアンケートによると、ほぼすべての学生がノートパソコンを所持しており、大学はもとより、自宅(下宿等を含む)においてもネット環境が整ってきているようです。ただし、一部にまだ対応ができていない学生もおりますので、パソコンの貸し出しなどを行い、全ての学生の学習機会が十分に確保されるように引き続き取り組みたいと思います。

〈課外活動の状況〉

対面授業の数も増えて、キャンパスには活気が戻ってきています。しかしながら、依然としてコロナ禍の状況にあり、学生に対しては「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための課外活動指針」を示し、一部活動については制限をかけております。

夏季休業中の合宿については、そもそも合宿を体験したことのある学生が現4回生のみということもあり、このまま中止を続けると部活動の引継ぎにも支障が出ることから、合宿についても細かいガイドラインを作って、そのルールを守ったうえであれば開催することも可能とすべく調整を行っています。また、昨年度は中止となった和歌山大学との定期対抗戦(滋和戦)も今年度は開催予定です。

〈あたらしい経済学部について〉

2023年度から経済学部の組織が大きく変わろうとしています。現時点では文部科学省に改組の申請を

行っているところですが、計画ではこれまでであった5学科の垣根を取り払って1学科にし、その下に経済専攻、経営専攻、社会システム専攻の3つの専攻をおきます。

これまで、入試願書に希望する学科名を記入し、入試の成績によって配属学科が決まる制度になっていました。この制度だと、①学間内容が十分わからない入学前の段階で学科選択をしなければならず、②場合によっては第一希望の学科に配属されずに入学後の学習意欲が減退してしまう、などの問題がありました。新しい制度では、入学後に幅広くいろいろな学間分野を学んでもらい、3回生に進級する前に専攻を選ぶことのできるシステムに変わります。

滋賀大学経済学部で学べる学間の幅に変更はなく、来年度からはむしろもっと自由に学びたいことを学べる学部になります。経済学部(大学院を含む)では、今後も学生の皆様が豊かな人生を歩んでいけるような教育プログラムを提供していきます。



データサイエンス学部の現況

データサイエンス学部長

椎名 洋

〈入学者の状況〉

今年度4月の入学者は、104名でありました（入試の面から見ますと、受験者285名に対して、合格者が116名で、実質倍率が約2.5倍でした）。例年と同じく、滋賀県（21名）・京都府（19名）からの出身者が多く、続いて兵庫県（10名）、大阪府（8名）となりますが、今年度は例年になく、岐阜県（3名）、愛知県（5名）といった東海地方からの入学者が少なかつた（昨年度は岐阜県10名、愛知県11名）ことが、やや懸念材料です。また、

今年度の新入生の場合、高校時代に文系だった人の割合が2割近くまで減少してしまいました（DS学部設立当初は、文系の人は4割程度）。文理融合のカリキュラム（情報学や統計学の体系的な知識・技能の習得＋価値創造・発見とその伝達という文系的な活動の訓練）を掲げているDS学部では、この現象や高校における新課程教育（「情報I」の必修化等）を織り込みながら、今後の教育設計を行う必要があると考えています。

〈授業の状況〉

昨年度に引き続き「対面・オンライン」併用を基本としています。卒業単位に関するオンライン授業による単位の上限の復活に対応すべく、15回の授業のうち過半数は対面で授業を受けるようにしていることから、キャンパスに来る学生が非常に増えています。活気にあふれて、大学らしい風景がもどってきたことは大変嬉しいことですが、一方で、昼食時間の食堂の込み方など、懸念される点もあります。

〈就職〉

3月に、学部の第二期生が卒業しました。調べのついた学生87名のうち、32名が情報・通信業界に就職しましたが、それ以外の業界に37名、官公庁に4名、大学院進学が14名（うち、滋賀大学DS研究科に8名）となつていきます。社会や企業の様々な場所で、DX化が進む過程で、データマネジメントやデータアナリシスを外注していた企業が、これらの業務を内生化していく現象がアメリカ等で観察されていますが、日本もその方向にベクトルが向かっていきます。このことが、製造業・金融業・運輸業等の情報通信業界以外からのDS人材需要につながり、前述のような就職状況に結びついたり考えられます。

〈大学院〉

大学院については、博士前期課程に46人が、博士後期課程に5人の入学者がありました。博士前期課程入学者のうち、約三分の一が企業からの派遣です。近年、DS学部に寄せ

られる企業や自治体の相談の多くが、DSに詳しい社内人材の育成に関するものです。DS学部の教員による社内講習やオンライン教材（後述）の形で、人材育成を手助けすることは可能ですが、やはり二年、あるいは三年かけて大学院で勉強・研究していただくことが、長い目で見た場合一番効率の良い人材育成になると思われます。

〈社会貢献〉

DS学部は2017年度から2022年度まで、文部科学省から、数理およびデータサイエンスの教育強化の拠点校（6校）の一つに選ばれていました。その第二期が今年度より開始され、拠点校（11校）の一つに再び選ばれました。これは、昨年度までの実績が評価された結果ですが、第一期の活動の中で、DS学部で作成された教材についてここで紹介します。一つは、MOOC教材のシリーズで、「大学生のためのデータサイエンス」シリーズを（I）から（III）まで三本、「高校生のためのデータサイエンス」を一本作成しました。これらは、常時、学生がオンデマンドで視聴できるようになっています。また、ドコモgaccoのプラットフォームを通して、一定期間は無料で公開しており、コロナ渦の中で、多くの方に利用していただきました。「大学生のための」と名打っていますが、レベル的には入門レベルから各種機

械学習の紹介・応用までを含んでおり、社会人教育に関しても様々な企業で活用されています。教科書については、学術図書出版社より、データサイエンス大系のシリーズとして、これまでに6冊を発行しています。また、講談社のデータサイエンス入門シリーズでは、4冊の本を出版しています。今後、これらのシリーズから、さらなる出版を予定しています。



学術図書出版データサイエンス大系の最新刊
「ニューラルネットワークとディープラーニング」



MOOC教材

就職活動と支援

就職支援体制

教育・学生支援機構 特命教授

入江 直樹

平素より学生の就職支援に格別のお力添えを賜り心より御礼申し上げます。

彦根キャンパスにおける学生への就職支援体制についてご説明させていただきます。彦根キャンパスにおいては経済学部、データサイエンス学部で学ぶ学生、及び経済学研究科、データサイエンス学研究科で学ぶ大学院生に対しまして各自が選択する進路を目指すための様々な情報を提供しております。外部環境の変化、学生気質の変化に対応しながらすべての学生が希望する進路選択ができることを目標として様々なプログラムを提供いたしております。それらのプログラムをご紹介します。いただきます。

大学が整備している就職支援体制

本学では学生の就職活動をサポートするために様々なシステム、制度を導入しております。これらによって学生が効果的、効率的に就職活動を進めることができます。また学生の就職活動を専門演習担当教官、就職委員会、就職支援室、学生支援課がこれをサポートします。それでは

就職活動をサポートするシステム、制度をご紹介します。

〈滋賀大学キャンパス教育支援システム (SUCESS-Shiga University's Campus Computer Education Support System)〉

就職支援室ではこのシステムを利用して就職情報やインターンシップ情報についてタイムリーに情報を提供します。刻々と変化する外部情報、学内での企業説明会、起業からの連絡、滋賀大学だから持ち得る求人情報などを学生に発信しております。学生とのコミュニケーションツールとして効果的に機能しているシステムです。

〈彦根キャンパス求人情報提供システム〉

自宅や下宿など彦根キャンパス外からもアクセスできる彦根キャンパス在学生専用求人情報システムです。滋賀大生を採用したいという企業の求人情報などを提供します。学生が企業研究のための資料として活用することもできます。またこのシステムを利用してインターンシップ募集情報も提供しております。

〈就職支援室での就職相談〉

進路・就職に関する様々な相談に対応しています。毎日9時30分から16時30分まで受け付けています。面談方法は対面とオンラインとのハイブリッド形式で実施しております。主な相談内容は

- 進路選択についての相談
- 個人面接、集団面接の模擬訓練
- エントリーシート、履歴書の添削
- 求人票送付企業の紹介
- などです。時間内であれば予約なしで対応しております。昨年度は567名の学生から1195件の相談がありました。

〈就職支援室での情報提供〉

- 企業・団体からの求人情報・企業説明会情報をタイムリーに提供しています。
- OB/OG訪問のための情報提供を提供しています。
- 就職活動関連の書籍・雑誌・日経新聞等が自由に閲覧できます。
- 大学連携及び公募型インターンシップに関する情報を整理して提供しています。
- 公務員、大学院、税理士等専門職に関する情報を提供しています。
- 感染防止に配慮しながら最大限のコミュニケーションが取れるように配慮いたしております。

〈1回生から4回生まで幅広く実施されるキャリア教育や就職ガイダンスなどの充実した独自の支援プログラム〉

これらのシステム・制度を用いて学生を支援して参ります。
本学卒業生による就職支援体制
本学の同窓会組織である「陵水会」のバックアップを中心にして、下記のような支援が準備されています。

〈学内合同企業説明会〉

本年は3月にオンラインで実施し、卒業生が就職をしてお世話になっている企業で、有名大手企業を中心に160社がご参加くださいました。今後は可能な限り対面で開催する予定です。

〈陵水懇話会〉

卒業後25年の先輩方を中心に10数名にお見えいただき、業界紹介を中心と働くということにつき、いろいろと懇談してもらいます。昨年は約100名の学生がオンラインで参加しました。

〈陵水会計人会懇談会〉

伝統的に卒業生の公認会計士と税理士を多数輩出しておりますが、本学の学生たちにも志望者は沢山います。先輩たちの現役の会計士・税理士の方をお招きして、会計士・税理士の仕事、勉強の仕方などについて忌憚のない意見交換をしていただく懇談会です。

〈支部別就職支援行事の開催〉

名古屋支部、大阪支部を中心に各支部でその地域で活動するOBが学生に地域ならではの情報を伝えるイベントを開催していただいております。コロナ禍の影響で開催が中止されておりましたが今後は復活していただける見込です。

これら以外にも学生のOB/OG訪問など様々なところで卒業生の方々のご支援をいただいております。

就職状況

令和3年度の就職状況

教育・学生支援機構 特命教授

入江 直樹

本学の卒業生は、前身の旧制彦根高等商業学校時代からの約100年の伝統を受け継ぎ、金融・保険・商業・製造業・IT業界等全国的規模で経済界に進出し活躍しています。が、官公庁・教育界・学界へも進出しています。

令和3年は卒業予定者にとってこれまででない就職活動を強いられた厳しい年でした。諸先輩方が築いた実績や成果を活用することがままならなかったり、進路選択に関する情報を収集する方法や手段に制限が設けられました。また学生自身も外部との接触を制限されたり、実家に帰省すらままならなかったり、自分との闘いを強いられました。

一方でこれら劇的な環境変化を好機と捉え、新しい体制、新しい手法に順応し、本懐を遂げた者もおりました。外部環境に左右されずに本質を見極める、自分自身がこうありたい、という信念を持った学生にとつては好都合の一年であったと思われる。具体的な変化の一例は企業が実施する面接形態の変化です。これ

まで面接は対面で行うことが当たり前でありましたが、令和3年度の選考では多くの企業がオンライン面接を実施してありました。

その前年はまだ慣れないところもあり学生、企業も戸惑っておりましたが、機器操作や接続などにも慣れ、当たり前のようになりオンラインでの面接が実施されました。またグループワークなどの複数名での選考にもこのオンラインによる形態が多く用いられておりました。学生はパソコンに向かつて話をし、共同作業をする、といった光景が日常化しております。これによってこれまで遠くまで応募できなかった企業の選考にもトライすることができるようになりました。一方で熱意や元気が伝わりにくいというデメリットもありましたが、もとより穏やかで和やかな本学学生にとってはメリットの方が多いと思われまます。

企業の動向はコロナ禍の影響を大きく受けた業界、逆にこの間に業績を伸ばした業界、コロナ禍の影響を受けなかった業界とで異なる採用活動となりました。旅行、観光、運輸、飲食などの業界は採用者数を大きく削減した一方で、情報、IT業界は採用者数を大きく増加させました。また金融、製造業などの業界は多少の凸凹はありましたが業績などに大きな変化はなく採用者数もこれまで通りとなりました。

職種別に見ますといわゆる一般職という職種採用が大幅な減少傾向にあります。これはここ数年の傾向で各企業において業務の機械化、AI活用による定型業務の削減が更に進んだことによりです。また少なくとも定型業務を外注化することでコストに近づけていく流れにあります。

学生の動き、特徴については、「多様化」という言葉で表現できるのではと思います。進路、勤務地、業種、職種など、それぞれにおいて極端な偏りのない動きとなっております。勤務地においては全国各地でも大丈夫という学生から徹底して自宅から、などと様々です。また業種においても、金融、製造、情報IT、小売販売、サービス、公務員と広い範囲となっております。学生が家族と相談して、自らの意志で進路を決めている証しではと思います。一昔前の滋賀大学経済学部生の進路は金融、製造、商社に集約されていたとの印象ですが、今は様々です。

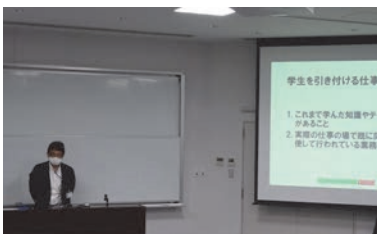
経済学部生の特徴はIT業界を志望する学生が増えてきたことです。応募対象となる企業数が増加したこともその要因の一つですが、主な要因はデータサイエンス学部設立ではないかと思われまます。DX、AI、データサイエンス、という言葉が身近に感じ、実際にこれらを学びの対象とする学生も増えてきました。これは世の中の流れを敏感にキャッチ

して社会をリードする役割を担うために必要なスキル、知識を身に付けてきている証しではないかと思われまます。

データサイエンス学部生の特徴はIT業界だけではなく製造業、サービス業、通信インフラ業などにも進路を広げているということです。

学部で得た専門知識、技術をベースに様々な業界、職種で新しい技術革新の一役を担う存在を目指して社会人デビューを果たしたのではないのでしょうか。世間から注目されていることを励みにして更なる飛躍を遂げてほしいと思います。

ウクライナ・ロシア戦争、コロナ禍の影響など不透明な世の中においては学生一人一人が確実に丁寧に学びを重ねていくことが自らを守ることになる、世の中の役に立つことになると確信しながら今後も学生と共に精進して参ります。引き続きご支援ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



企業に対し、実りある
インターンシッププログラムとするための
ノウハウを説明する入江教授

	会社名	計	男	女
132	㈱日本経済新聞社	1	1	
133	日本システム技術㈱	1	1	
134	㈱日本制御エンジニアリング	1	1	
135	㈱林電子	1	1	
136	㈱ビーネット	1	1	
137	㈱フューチャー㈱	1	1	
138	㈱プライセン	1	1	
139	マークラインズ㈱	1	1	
140	明治安田システム・テクノロジー㈱	1	1	
141	名菱電子㈱	1	1	
142	東洋グループ㈱	1	1	
143	㈱高橋システムズ	1	1	
144	㈱wiz	1	1	
	運輸業、郵便業			
145	NX・NPロジスティクス㈱	1	1	
146	佐川グローバルロジスティクス㈱	1	1	
147	西濃運輸㈱	1	1	
148	㈱中央倉庫	1	1	
149	東海旅客鉄道㈱	1	1	
150	フジトラנסポート㈱	1	1	
151	安田倉庫㈱	2	1	1
	卸売業			
152	アストモスエネルギー㈱	1	1	
153	伊藤忠エネクス㈱	1	1	
154	岡谷鋼機㈱	1	1	
155	㈱カーチスホールディングス	1	1	
156	加藤産業㈱	1	1	
157	グリムスグループ	1	1	
158	㈱さとら	1	1	
159	㈱サンゲツ	1	1	
160	シャープマーケティングジャパン㈱	1	1	
161	双日㈱	1	1	
162	大同興業㈱	1	1	
163	ダイワボウ情報システム㈱	1	1	
164	タキゲン製造㈱	1	1	
165	㈱徳山物産	1	1	
166	トラスコ中山㈱	1	1	
167	中日本フード㈱	1	1	
168	㈱日伝	1	1	
169	㈱本総業㈱	1	1	
170	丸紅㈱	2	2	
171	㈱吉銘	1	1	
172	㈱久リネ㈱	1	1	
	小売業			
173	イズミヤ㈱	1	1	
174	㈱うさぎメディケア	1	1	
175	㈱エディオン	1	1	
176	エネクスフリート㈱	1	1	
177	㈱オンデーズ	1	1	
178	神戸トヨベツ㈱	1	1	
179	㈱ジズ	1	1	
180	㈱スギ薬局	1	1	
181	大黒天物産㈱	1	1	
182	㈱ファミリーマート	1	1	
183	㈱平和堂	2	1	1
184	㈱ベルパーク	1	1	
185	㈱メガネット	1	1	
186	㈱ユタカファーマシー	1	1	
187	ユニー㈱	1	1	
188	yumecan	1	1	
189	㈱良品計画	1	1	
	金融（銀行）			
190	㈱池田泉州銀行	1	1	
191	㈱大塚共立銀行	1	1	
192	㈱関西みらい銀行	1	1	
193	㈱京都銀行	2	2	
194	㈱滋賀銀行	9	5	4
195	㈱十六銀行	3	2	1
196	ソシエテ・ジェネラル	1	1	
197	㈱南都銀行	2	2	
198	㈱肥後銀行	1	1	
199	㈱百五銀行	1	1	
200	㈱三井住友銀行	1	1	
201	三井住友信託銀行㈱	5	5	
202	㈱りそな銀行	1	1	
203	りそなグループ	1	1	
	金融（協同組織）			
204	尼崎信用金庫	1	1	
205	大阪厚生信用金庫	1	1	
206	岐阜信用金庫	2	1	1
207	京都信用金庫	1	1	
208	京都中央信用金庫	2	2	
209	鳥田掛川信用金庫	1	1	
210	但馬信用金庫	1	1	
211	東海労働金庫	1	1	
212	兵庫県信用農業協同組合連合会	1	1	
213	大和信用金庫	1	1	
	金融（証券）			
214	㈱SBI証券	1	1	
215	豊トラスティ証券㈱	1	1	
216	楽天証券㈱	1	1	

	会社名	計	男	女
48	マルホ発條工業㈱	1	1	
49	三菱マテリアル㈱	1	1	
	はん用・業務用製造			
50	㈱アークレイ	1	1	
51	井関農機㈱	1	1	
52	オークマ㈱	1	1	
53	新東工業㈱	1	1	
54	㈱タツノ	1	1	
55	東邦地下工機㈱	1	1	
56	日本精工㈱	1	1	
57	日本ドライケミカル㈱	1	1	
58	日立造船㈱	1	1	
59	フジテック㈱	1	1	
60	㈱マキタ	1	1	
	電子部品等製造			
61	TDK㈱	1	1	
62	ニチコン㈱	3	3	
	電気・情報通信製造			
63	㈱キーエンス	1	1	
64	山洋電気㈱	1	1	
65	㈱GSユアサ	2	1	1
66	ソニーグループ㈱	2	1	1
67	㈱ニプロン	1	1	
68	㈱パツファロー	1	1	
69	パナソニック㈱	2	1	1
70	パナソニックエコシステムズ㈱	1	1	
71	富士通フロンテック㈱	1	1	
72	㈱別川製作所	1	1	
73	三菱電機㈱	1	1	
74	三菱電機エンジニアリング㈱	1	1	
	輸送用機械製造			
75	川崎重工業㈱	2	1	1
76	三恵工業㈱	1	1	
77	住友電装㈱	1	1	
78	津田工業㈱	1	1	
79	㈱デンソー	4	4	
80	豊田合成㈱	1	1	
81	トヨタ自動車㈱	1	1	
82	フタバ産業㈱	1	1	
83	本田技研工業㈱	1	1	
84	矢作産業㈱	1	1	
	その他製造			
85	アイリスオーヤマ㈱	1	1	
86	AGC㈱	1	1	
87	太平洋セメント㈱	1	1	
88	タカラスタンダード㈱	1	1	
89	㈱土屋物産製造所	1	1	
90	帝人コードレ㈱	1	1	
	光熱水業			
91	北陸電力㈱	1	1	
	情報通信業			
92	㈱アイ・アイ・エム	1	1	
93	アクセンチュア㈱	1	1	
94	㈱アクティブ・ワーク	1	1	
95	アビームシステムズ㈱	3	1	2
96	㈱インターネットイニシアティブ	1	1	
97	㈱インターネットソリューションパワー	1	1	
98	NECソリューションイノベータ㈱	1	1	
99	㈱NSD	2	1	1
100	㈱NTTドコモ	2	1	1
101	FPT沖縄R&D㈱	1	1	
102	㈱オービック	1	1	
103	㈱開電システムズ	1	1	
104	㈱キールズタフティング	1	1	
105	キヤノンITソリューションズ㈱	1	1	
106	共立コンピュータサービス㈱	1	1	
107	㈱QUICK	1	1	
108	㈱CROOZ SHOPLIST	1	1	
109	㈱クロス・マーケティンググループ	1	1	
110	KDDI㈱	1	1	
111	㈱コナミデジタルエンタテインメント	1	1	
112	㈱CIJ	1	1	
113	㈱CAC	1	1	
114	㈱シーシェルコーポレーション	1	1	
115	㈱JFR情報センター	1	1	
116	UFEシステムズ	1	1	
117	㈱システムリサーチ	1	1	
118	㈱ジャコム	1	1	
119	㈱情報技術社	1	1	
120	中央コンピューター㈱	1	1	
121	都築電気㈱	1	1	
122	T&D情報システム㈱	2	2	
123	TDCソフト㈱	1	1	
124	東京海上日動システムズ㈱	1	1	
125	東京ガスIネット㈱	1	1	
126	㈱ドコモCS	1	1	
127	㈱トヨタシステムズ	1	1	
128	㈱ニースウエル	1	1	
129	日商エレクトロニクス㈱	1	1	
130	㈱ニッセイコム	2	1	1
131	ニッセイ情報テクノロジー㈱	2	1	1

令和3年度就職状況 【経済学部】

○進路別内訳 令和4年5月1日現在

	計	男子	女子
卒業生	457	303	154
進学者			
大学院			
大学院	7	3	4
大学学部等	1	0	1
専修学校等	2	2	0
就職者			
企業就職	354	237	117
公務員	42	27	15
その他	51	34	17

進学先・就職先一覧 【経済学部】

○進学先内訳

	進学先	計	男	女
大学院 進学				
1	大阪大学大学院 経済学研究科	1	1	
2	名古屋経済大学大学院 法学研究科	1	1	
3	名古屋大学大学院 国際開発研究科	1	1	
4	奈良女子大学大学院 人間文化総合科学研究所	1	1	
5	南山大学大学院 社会科学部研究科	1	1	
6	University of Sussex	1	1	
7	The University of Sydney	1	1	
学部編・入学				
8	京都大学 教育学部	1	1	
専修学校 入学				
9	ILAC international College	1	1	
10	トライデント 外国語・ホテル・ブライダル専門学校	1	1	

○就職先内訳（産別・業種別）

	会社名	計	男	女
農業、林業				
1	テンアール㈱	1	1	
建設業				
2	㈱浅沼組	1	1	
3	旭化成ホームズ㈱	2	2	
4	㈱一栄工務店	1	1	
5	㈱伊藤電機	1	1	
6	鹿島建設㈱	1	1	
7	㈱CONY JAPAN	1	1	
8	佐藤工業㈱	1	1	
9	三栄電気工業㈱	1	1	
10	清水建設㈱	1	1	
11	杉橋建設㈱	1	1	
12	積水ハウス㈱	1	1	
13	㈱大翔	1	1	
14	大成建設㈱	1	1	
15	ダイダイン㈱	1	1	
16	TSUCHIYA㈱	1	1	
17	㈱トーエネック	2	1	1
18	㈱NIPPO	1	1	
19	㈱長谷工コーポレーション	1	1	
20	㈱日立プラントコンストラクション	1	1	
21	北陸電気工事㈱	1	1	
22	三菱電機プラントエンジニアリング㈱	2	2	
	食料・飲料等製造			
23	いなば食品㈱	1	1	
24	月桂冠㈱	1	1	
25	第一屋製パン㈱	1	1	
26	ネスレ日本㈱	1	1	
27	㈱ブルボン	1	1	
28	山崎製パン㈱	1	1	
	繊維工業			
29	㈱エムール	1	1	
30	東洋紡㈱	1	1	
	化学・石油等製品製造			
31	荒川化学工業㈱	1	1	
32	協和キリン㈱	1	1	
33	K&Oヨウ素㈱	1	1	
34	相模ゴム工業㈱	1	1	
35	積水化学工業㈱	1	1	
36	ドクターリセラ㈱	1	1	
37	フタムラ化学㈱	1	1	
	鉄鋼・非鉄金属等製造			
38	㈱イチグチ	1	1	
39	近江鍛冶㈱	1	1	
40	㈱奥谷金網製作所	1	1	
41	新日本電工㈱	1	1	
42	㈱多久製作所	1	1	
43	㈱新高製作所	1	1	
44	阪和興業㈱	1	1	
45	福栄鋼材㈱	1	1	
46	富士電線工業㈱	1	1	
47	松尾バルブ工業㈱	1	1	

会社名	計	男	女
14 豊田合成株式会社	1	1	
15 トヨタ自動車株式会社	1	1	
情報通信業			
16 アイシン・ソフトウェア株式会社	1	1	
17 アビームシステムズ株式会社	1	1	
18 AMDL株式会社	1	1	
19 NECネットワークスアイ株式会社	1	1	
20 株式会社NSソリューションズ関西	1	1	
21 株式会社NTTデータ・アイ	1	1	
22 株式会社NTTデータウェブ	1	1	
23 株式会社NTTドコモ	2		2
24 オムロンソーシアルソリューションズ株式会社	1	1	
25 オムロンソフトウェア株式会社	1		1
26 サントリーシステムテクノロジー株式会社	1		1
27 株式会社SHIFT	1	1	
28 Sky株式会社	1	1	
29 株式会社Speee	1	1	
30 SOMPOシステムズ株式会社	1	1	
31 チエル株式会社	1	1	
32 株式会社中電シーティアアイ	1		1
33 TIS株式会社	1	1	
34 株式会社朝日メディアブックス	1	1	
35 株式会社電算システム	1	1	
36 株式会社電通国際情報サービス	1	1	
37 東京海上日動システムズ株式会社	1	1	
38 株式会社True Data	1	1	
39 日本インフォメーション株式会社	1		1
40 日本ソフト開発株式会社	2	1	1
41 パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社	1	1	
42 株式会社日立産業制御ソリューションズ	1	1	
43 福井コンピュータホールディングス株式会社	1	1	
44 株式会社プリマジェスト	1	1	
45 三菱電機コントロールソフトウェア株式会社	1	1	
運輸業・郵便業			
46 日本交通株式会社	1	1	
47 三菱倉庫株式会社	1	1	
小売業			
48 株式会社ファミリーマート	1		1
49 株式会社ワークマン	1	1	
金融（銀行）			
50 株式会社大垣共立銀行	1	1	
51 株式会社沖繩銀行	1	1	
52 株式会社滋賀銀行	1	1	
53 株式会社新生銀行	2	1	1
54 三井住友信託銀行株式会社	2	1	1
金融（協同組織）			
55 浜松磐田信用金庫	1	1	
金融（その他）			
56 トヨタファイナンス株式会社	1	1	
保険業			
57 株式会社ウェブクルー	1	1	
58 エイチ・エス損害保険株式会社	1	1	
59 株式会社かんぽ生命保険	1	1	
その他専門・技術			
60 有限責任監査法人トーマツ	1		1
その他教育			
61 株式会社データミックス	1	1	
その他サービス			
62 株式会社アウトソーシングテクノロジー	1	1	
63 オムロンフィールドエンジニアリング株式会社	1	1	
地方公務			
64 大津市役所	1	1	
65 滋賀県警察	1	1	
66 豊中市役所	1	1	
67 彦根市役所	1	1	

会社名	計	男	女
296 パーソルファクトリー・パートナーズ株式会社	1	1	1
297 株式会社パソナグループ	1	1	1
298 株式会社マイナビワークス	1	1	1
299 マンパワーグループ株式会社	1	1	1
300 株式会社ワールドコンストラクション	1	1	1
国家公務			
301 大阪国税局	2	1	1
302 海上保安庁	1	1	1
303 近畿財務局	1	1	1
304 金融庁	1	1	1
305 中部経済産業局	1	1	1
306 津地方検察庁	1	1	1
307 東京国税局	1	1	1
308 名古屋国税局	2	2	2
309 兵庫労働局	1	1	1
310 広島国税局	2	2	2
地方公務			
311 愛知県庁	2	2	2
312 愛知県警察	1	1	1
313 一宮市役所	1	1	1
314 近江八幡市役所	1	1	1
315 大垣市役所	2	2	2
316 大阪府庁	1	1	1
317 各務原市役所	1	1	1
318 草津市役所	2	1	1
319 警視庁	1	1	1
320 堺市役所	1	1	1
321 滋賀県庁	6	4	2
322 静岡県庁	1	1	1
323 常滑市役所	1	1	1
324 中野区役所	1	1	1
325 彦根市役所	2	2	2
326 米原市役所	1	1	1
327 南伊勢町立南勢小学校	1	1	1
328 三重県庁	1	1	1
329 横浜市役所	1	1	1
330 和歌山県庁	1	1	1

会社名	計	男	女
金融（その他）			
217 愛知県信用保証協会	1	1	1
218 アコム株式会社	1	1	1
219 NTTファイナンス株式会社	2		2
220 岡三アセットマネジメント株式会社	1	1	1
221 東京センチュリー株式会社	2	1	1
222 トヨタファイナンス株式会社	1	1	1
223 株式会社日本政策金融公庫	4	3	1
224 野村アセットマネジメント株式会社	1	1	1
225 芙蓉総合リース株式会社	1	1	1
226 ポケットカード株式会社	1	1	1
227 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社	1	1	1
228 三井住友ファイナンス&リース株式会社	1	1	1
保険業			
229 KFC株式会社	1	1	1
230 損害保険ジャパン株式会社	1	1	1
231 第一生命保険株式会社	1	1	1
232 太陽生命保険株式会社	1	1	1
233 日本生命保険相互会社	3	1	2
234 三井住友海上火災保険株式会社	2	1	1
235 明治安田生命保険相互会社	4	2	2
不動産・賃貸業			
236 エスリード建物管理株式会社	1	1	1
237 開電フアリティーズ株式会社	1	1	1
238 ケイアイスター不動産株式会社	1	1	1
239 株式会社GA technologies	1	1	1
240 株式会社ソリックコーポレーション	1	1	1
241 大東建設パートナーズ株式会社	1	1	1
242 株式会社宅都	1	1	1
243 東和不動産株式会社	1	1	1
244 日本空港ビルデング株式会社	1	1	1
245 野村不動産ソリューションズ株式会社	1	1	1
246 株式会社長谷イリアルエステート	1	1	1
247 株式会社不動産のおおさわ	1	1	1
248 株式会社フューディアルクリエーション	1	1	1
249 三井不動産リアルティ株式会社	1	1	1
250 ミノラス不動産株式会社	1	1	1
学術・開発研究			
251 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構	1	1	1
252 独立行政法人日本貿易振興機構	1	1	1
その他専門・技術			
253 株式会社アークコミュニケーションズ	1	1	1
254 インフォシス リミテッド	1	1	1
255 エイム株式会社	1	1	1
256 近畿税理士会	1	1	1
257 税理士法人坂本&パートナー	1	1	1
258 株式会社ソリューション	1	1	1
259 税理士法人TACT高井法博会計事務所	1	1	1
260 独立行政法人 中小企業基盤整備機構	1	1	1
261 株式会社電通デジタル	1	1	1
262 株式会社日本経営	1	1	1
263 日本経営ウィル税理士法人	1	1	1
264 はじめ税理士法人	1	1	1
265 株式会社Fast Fitness Japan	1	1	1
266 ライフワンズメディア株式会社	1	1	1
宿泊・飲食			
267 株式会社アレフ	1	1	1
268 株式会社大戸屋	1	1	1
269 サトフードサービス株式会社	1	1	1
270 株式会社西村屋	1	1	1
271 日本マクドナルド株式会社	1	1	1
生活関連サービス			
272 株式会社Inception	1	1	1
273 株式会社ビーアンドビー	1	1	1
274 株式会社真城ホールディングス	1	1	1
学校教育			
275 岐阜県教育委員会	1	1	1
276 京都府教育委員会	1	1	1
277 兵庫県立神戸商業高等学校	1	1	1
その他教育			
278 コムズアカデミー	1	1	1
279 新教育総合研究会株式会社	1	1	1
280 株式会社ティーン・シー・ケー・ワークショッパー	1	1	1
281 株式会社文理学院	1	1	1
医療・保健			
282 地方独立行政法人公立甲賀病院	1	1	1
283 独立行政法人地域医療機能推進機構	1	1	1
社会保険・福祉			
284 全国健康保険協会	1	1	1
285 社会福祉法人 西春日井福祉会	1	1	1
その他サービス			
286 株式会社アウトソーシングテクノロジー	1	1	1
287 株式会社エイジェック	1	1	1
288 株式会社ASAP	1	1	1
289 株式会社エム・シヨー	1	1	1
290 エン・ジャパン株式会社	2	2	2
291 株式会社大阪国際会議場	1	1	1
292 株式会社キャリアリンク	1	1	1
293 株式会社グローアップ	1	1	1
294 パーソルキャリア株式会社	3	1	2
295 パーソルテンプスタッフ株式会社	1	1	1

令和3年度就職状況
【データサイエンス学部】

○進路別内訳 令和4年5月1日現在

	計	男子	女子
卒業生	93	74	19
進学者			
大学院	14	14	0
大学学部等	0	0	0
専修学校等	0	0	0
就職者			
企業就職	69	51	18
公務員	4	4	0
その他	6	5	1

進学先・就職先一覧
【データサイエンス学部】

○進学先内訳

進学先	計	男	女
進学			
1 大阪大学大学院 基礎工学研究科	1	1	
2 九州工業大学大学院 情報工学府	1	1	
3 京都大学経営管理大学院	1	1	
4 京都大学大学院 エネルギー科学研究科	1	1	
5 京都大学大学院 情報学研究科	1	1	
6 滋賀大学大学院 データサイエンス研究科	8	8	
7 東京都立大学大学院 経営学研究科	1	1	

○就職先内訳（産業別・業種別）

会社名	計	男	女
建設業			
1 佐藤工業株式会社	2		2
食料・飲料等製造			
2 株式会社Mizkan Holdings	1	1	
化学・石油等製品製造			
3 サカイク株式会社	1	1	
鉄鋼・非鉄金属等製造			
4 株式会社ワコー	1	1	
はん用・業務用製造			
5 株式会社インダ	2	2	
6 株式会社荏原製作所	1	1	
7 株式会社小松製作所	1	1	
8 テルモ株式会社	1	1	
9 日立建機株式会社	1	1	
10 フジテック株式会社	1	1	
電気・情報通信製造			
11 株式会社沖電気工業	1	1	
12 株式会社日立製作所	1	1	
輸送用機械製造			
13 ダイハツ工業株式会社	1	1	





「滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度」は、スポーツ・文化活動、勉強等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生諸君の日頃の勉学等を支援し、資質の向上に資することを目的に、平成26年度から開始した制度です。下表に記載しておりますサポート対象基準を満たすことにより、その功績を称え報奨金を給付するもので、これまでに378件に対して給付いたしました。報奨された学生からは「更なるステップアップのため資金としたい。」等との頼もしい発言もあり、今後も、多くの学生諸君からの応募を期待しております。学生諸君には、別途、学内においてお知らせしていますが、保護者の皆さまにおかれましても、ぜひ本制度をお子様にお伝えいただきたく存じます。

今後も、より良き制度に改善して行きたく、会員の皆さまからのご意見等をお待ちしております。

【お問い合わせ】

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部共通事務部総務・企画係

TEL 074912711030

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度

- 趣旨
この制度は、スポーツ・文化活動、勉強等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生の日頃の勉学等を支援し、資質の向上に資することを目的とする。
- ガイドライン
滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度の運用にあたり、次のとおりガイドラインを定める。
なお、報奨額については、年度毎の申請者総数に基づき、ガイドラインに示す額を上限とし予算の範囲内において決定する。

分類	サポート対象事項	基準	報奨額(上限)
資格・認定試験	1. 日商簿記検定試験	「1級」合格者	70,000円
	2. 税理士試験 (申請は、基準①、②のいずれか1回に限る。)	①会計学に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	30,000円
		2科目同時合格者	50,000円
	3. 公認会計士試験	②税法に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	40,000円
		「短答式試験」合格者	50,000円
	4. 証券アナリスト試験	「論文式試験」合格者	100,000円
		「第1次レベル試験」合格者	30,000円
5. データベーススペシャリスト試験	「第2次レベル試験」合格者	40,000円	
	合格者	50,000円	
	6. 品質管理検定	「1級」合格者	50,000円
7. 統計検定	「1級」の「統計数理」、「統計応用」いずれか1科目合格者	50,000円	
	「1級」2科目目合格者	20,000円	
	「準1級」合格者	30,000円	
語学試験	8. TOEIC (公開テスト) (原則として、編入学試験又は帰国子女入試枠での入学者及び外国人留学生は除く。)	800点以上	30,000円
		900点以上	50,000円
留学	9. 本学交換留学制度に基づく海外留学 (平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者は除く。)	アジア圏	40,000円
		その他	80,000円
その他	10. スポーツ・文化活動、勉強等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体、又は、上記1～8に相当すると思われる事項	申請に基づき、後援会役員会で審査のうえ、決定する。	

- 注)① このガイドラインは、平成26年4月1日から実施する。
 ② 「資格試験・認定試験」については、同一基準での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。ただし、税理士試験については、基準①、②のいずれか1回限りとする。
 ③ 「語学試験」については、同一言語での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。また、試験言語を、母語とする者は申請できない。
 ④ 編入学試験又は帰国子女入試枠で学部に入学者及び外国人留学生が、語学試験で申請する場合は、事前に問い合わせることとする。
 ⑤ 「本学交換留学制度に基づく海外留学」については、平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者、滋賀大学経済学部学術後援会基金助成金受給者及び(独)日本学生支援機構の海外留学支援制度(協定派遣)奨学金受給者で受給期間が3月を超える者は申請できない。
 ⑥ 「その他」の資格申請(第2次試験合格をもって資格取得となる中小企業診断士等)の基準については、2次レベル試験合格者とし、報奨額は50,000円とする。
 ⑦ 対象者は、経済学部、データサイエンス学部及び経済学研究科、データサイエンス研究科の正規の課程に在籍する学生で(休学中を含む。)
 ⑧ 対象者は、経済学部、データサイエンス学部及び経済学研究科、データサイエンス研究科の正規の課程に在籍する学生で(休学中を含む。)
 ⑨ 報奨額については、経済学部・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て調整することができる。
 ⑩ 本ガイドラインの改廃は、経済学部・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て決定する。

後援会総会

本後援会の通常総会は、後援会規約第14条第1項において、毎年入学式当日に開催することになっておりますが、昨今の社会情勢に鑑み、昨年度に引き続き、今年度も中止せざるを得ませんでした。この場をお借りして、改めてお詫び申し上げます。

また、本紙13、14ページ記載の「令和3年度決算、令和4年度予算案及び令和4年度役員」につきましては、同規約第13条第1項において総会でご審議頂くべきところですが、同規約第14条第3項において「通常総会が開催できないときは、役員会の開催をもって代えることができる」ことから、令和4年5月14日に開催された役員会承認とさせていただきます旨、ご報告申し上げます。

新体制で後援会を益々盛り上げていく所存でございますので、皆様、年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、内容に関するご意見・ご質問等につきましては、以下にお問い合わせください。

【お問い合わせ】滋賀大学 経済学部・データサイエンス学部共通事務部総務・企画係 TEL 0749-27-1030

令和3年度 経済学部・データサイエンス学部後援会 収支報告

収入

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	11,203,222	
会費（学部新入生）	12,604,000	548人×@23,000
会費（編入生）	230,000	20人×@11,500
会費（大学院新入生・前期）	575,000	50人×@11,500
会費（大学院5年一貫新入生・前期）	5,750	1人×@ 5,750
会費（大学院新入生・後期）	51,750	3人×@17,250
利息	164	
収入合計	24,669,886	

支出

(単位：円)

科目	予算額	支出額	過不足額	備考
①厚生体育費補助	2,960,000	1,363,138	1,596,862	課外活動等補助
②文化活動費補助	1,320,000	575,763	744,237	滋大祭、課外活動等補助
③学生研究調査費補助	70,000	25,000	45,000	学生懸賞論文副賞
④学務関係補助	3,500,000	614,067	2,885,933	TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤就職補助費	900,000	900,000	0	合同企業説明会等参加経費補助
⑥団体分担金	240,000	34,090	205,910	会費、学会開催経費等補助
⑦研究所等補助	410,000	410,000	0	資料購入、運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	200,000	154,910	45,090	役員会経費、その他経費補助
⑨広報費	600,000	537,702	62,298	後援会だより印刷費、送料
⑩渉外費	350,000	145,810	204,190	学部事業補助、慶弔費等
⑪総務費	30,000	9,030	20,970	通信費等
⑫外国人留学生後援会援助費	100,000	0	100,000	
⑬資格取得等報奨金	2,200,000	2,200,000	0	
⑭学部記念事業援助費積立	100,000	100,000	0	
⑮情報教育充実費	1,000,000	837,457	162,543	情報セキュリティ対策経費
⑯予備費	10,689,886	152,880	10,537,006	退会に伴う返金等
支出合計	24,669,886	8,059,847	16,610,039	令和4年度に繰越

令和3年度 図書充実費

収入

支出

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	210,532	
会費（学部新入生）	548,000	548人×@1,000
会費（編入生）	10,000	20人×@ 500
会費（大学院新入生・前期）	25,000	50人×@ 500
会費（大学院5年一貫新入生・前期）	250	1人×@ 250
会費（大学院新入生・後期）	2,250	3人×@ 750
利息（8月分）	2	
利息（2月分）	1	
収入合計	796,035	

科目	予算額	備考
図書購入費等	605,734	
次年度繰越金	190,301	
支出合計	796,035	

令和3年度 体育充実費

収入

支出

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	712,745	
会費（学部新入生）	548,000	548人×@1,000
会費（編入生）	10,000	20人×@ 500
会費（大学院新入生・前期）	25,000	50人×@ 500
会費（大学院5年一貫新入生・前期）	250	1人×@ 250
会費（大学院新入生・後期）	2,250	3人×@ 750
利息（8月分）	5	
利息（2月分）	6	
収入合計	1,298,256	

科目	予算額	備考
ゴルフ実習費等	16,890	
次年度繰越金	1,281,366	
支出合計	1,298,256	

令和3年度 資格取得等報奨金

収入

支出

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	2,111,245	
資格取得等報奨金 会費	2,200,000	
利息（8月分）	15	
利息（2月分）	11	
収入合計	4,311,271	

科目	予算額	備考
支出額	1,821,570	
次年度繰越金	2,489,701	
支出合計	4,311,271	

令和4年度 経済学部・データサイエンス学部後援会予算

収入

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
前年度繰越額	16,610,039	
会費（学部新入生）	12,949,000	563人×@23,000
会費（編入生）	299,000	26人×@11,500
会費（再入学）	17,250	1人×@17,250
会費（大学院新入生・前期）	621,000	54人×@11,500
会費（大学院1年制・前期）	5,750	1人×@ 5,750
会費（大学院新入生・後期）	172,500	10人×@17,250
利息（見込）	160	
収入合計	30,674,699	

支出

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
①厚生体育費補助	2,960,000	近国体運営費、大会出場者交通費、課外活動等補助
②文化活動費補助	1,320,000	開学祭、滋大祭、課外活動等補助
③学生研究調査費補助	70,000	学生懸賞論文副賞、優秀卒業論文副賞
④学務関係補助	3,500,000	学務関係諸経費補助、TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤就職補助費	900,000	合同企業説明会等参加経費補助
⑥団体分担金	240,000	会費、学会開催経費等補助
⑦研究所等補助	410,000	資料購入、運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	200,000	入学式、総会経費、卒業式経費補助
⑨広報費	600,000	後援会だより印刷費、送料
⑩渉外費	350,000	学部事業補助、慶弔費等
⑪総務費	30,000	通信費等
⑫外国人留学生援助費	100,000	滋賀大学基金へ寄附
⑬資格取得等報奨金	1,850,000	
⑭学部記念事業援助費積立	100,000	
⑮情報教育充実費	1,000,000	
⑯予備費	17,044,699	
支出合計	30,674,699	

令和4年度 図書充実費予算

収入

支出

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
前年度繰越額	190,301	
会費（学部新入生）	563,000	563人×@1,000
会費（編入生）	13,000	26人×@ 500
会費（再入学）	750	1人×@ 750
会費（大学院新入生・前期）	27,000	54人×@ 500
会費（大学院1年制・前期）	250	1人×@ 250
会費（大学院新入生・後期）	7,500	10人×@ 750
利息（見込）	3	
収入合計	801,804	

科 目	予 算 額	備 考
図書購入費等	600,000	
予備費	201,804	
支出合計	801,804	

令和4年度 体育充実費予算

収入

支出

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
前年度繰越額	1,281,366	
会費（学部新入生）	563,000	563人×@1,000
会費（編入生）	13,000	26人×@ 500
会費（再入学）	750	1人×@ 750
会費（大学院新入生・前期）	27,000	54人×@ 500
会費（大学院1年制・前期）	250	1人×@ 250
会費（大学院新入生・後期）	7,500	10人×@ 750
利息（見込）	11	
収入合計	1,892,877	

科 目	予 算 額	備 考
近国体分担金等	330,000	
ゴルフ実習費等	100,000	
スキー教室経費	200,000	
予備費	1,262,877	
支出合計	1,892,877	

令和4年度 資格取得等報奨金予算

収入

支出

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
前年度繰越額	2,489,701	
資格取得等報奨金 会費	1,850,000	
利息（見込）	26	
収入合計	4,339,727	

科 目	予 算 額	備 考
資格取得等報奨金（R3）	2,500,000	
次年度繰越予定額		
資格取得等報奨金（R4）	1,839,727	
支出合計	4,339,727	

令和4年度 後援会役員名簿

会 長	戸 田 茂	幹 事	田 中 伸 英	委 員	高 松 真 喜 子
副 会 長	伊 藤 正 之	幹 事	土 井 忠 史	委 員	坂 野 高 志
副 会 長	尾 上 志 津 夫	委 員	近 井 は る み	委 員	中 川 さ ゆ り
幹 事	堀 部 千 夏	委 員	森 野 陽 子	監 事	松 橋 勇 次
幹 事	毛 利 哲 也	委 員	山 川 友 美	監 事	西 田 隆 弘
幹 事	村 木 雅 直	委 員	村 松 由 美		

編集後記

後援会だよりは次のURLでもご覧頂けます。
<https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>
 記事の感想や要望、後援会や経済学部・DS学部
 に対する要望、ご意見等をお聞かせください。
 (送付先)
 滋賀大学
 経済学部・DS学部共通事務部総務・企画係
 E-mail ksyomu@biwako.shiga-u.ac.jp
 FAX 0749-27-1132

令和4年度 学年暦・主要な行事(予定)

月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
3	22(火)	成績発表(ササセス(Web)で確認)		
	4(月)	入学式(びわ湖ホール)		
	5(火)	新入生オリエンテーション		
4	6(水)	春学期授業開始		
	8(金)		公務員志望者向け就職ガイダンス	新入生留学説明会(～カモンなのにGO～)(～8日)
	26(火)			交換留学説明会(～カモンなのにGO～)・プログラム説明会
	16(月)	～ 20(金)		
	16(月)		就職説明会(キックオフ宣言)(3回生)【データサイエンス学部】	新入生歓迎ラウン
	17(火)		就職説明会(キックオフ宣言)(3回生)【経済学部】	第18回滋賀大学グローバルセミナー 開学記念日
5	21(土)			滋和2大学長杯争奪総合定期戦結団式
	26(木)			
	31(火)			
	4(土)		成績優秀者表彰式	レッシュロン・キャン
	8(水)			
	11(土)	～ 12(日)		第55回滋和2大学長杯争奪総合定期戦
6	18(土)	～ 19(日)	第1回就職ガイダンス(3回生)	第19回滋賀大学グローバルセミナー
	25(土)		第2回就職ガイダンス(3回生)	
			自己分析セミナー	
			留学生対象就職活動ガイダンス	
7				
	16(土)			
	18(月)	海の日		
	22(金)			
	23(土)			
			春学期授業終了	
			春学期試験(予備日を含む)	
8				
	6(土)	～ 9/30(金)		
			夏季休業、集中講義	外国人留学生対象進学説明会
9				
	中旬			国際フォーラム
	中旬			SFA(学生・教員協議会)
	下旬			第21回滋賀大学グローバルセミナー

(注)変更される場合があります。

その他の情報は
大学のホームページから
ご確認ください

滋賀大学のトップページ
<https://www.shiga-u.ac.jp/>

メニューバー
→ 在学生・保護者の方

→

- ◇通知を見る(休講・補講等)
- ◇学習について調べる(学年暦等)
- ◇大学の支援を調べる(奨学金・授業料免除等)
- ◇就職・資格について調べる(取得できる資格等)
- ◇大学生生活を調べる(住居・課外活動・アルバイト等)
- ◇滋賀県と滋賀大学を知る(広報誌しがたけい)

《秋学期》

月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
10	1(土)	秋学期授業開始 経済学研究科博士後期課程D3中間研究報告会	SDI対策講座	定例学生総会・体育総会、文サ連総会 学内ゼミナール大会 第22回滋賀大学グローバルセミナー 榎本杯争奪駅伝大会 大学祭
	10(月)	スポーツの日 授業日	第3回就職ガイダンス(3回生)	
	中旬	経済学研究科博士後期課程D2研究報告会 大学院経済学研究科博士前期課程学位論文中間報告会 彦根地区キャンパス休講		
11	中旬		3回生就職希望者の個別進路面談(3回生)	交換留学説明会(〜カモツなのにGO〜) リーダーズトレーニング 第23回滋賀大学グローバルセミナー
	下旬		第4回就職ガイダンス(3回生) 陵水会計人会による学生説明会・懇談会(3回生)	
	26(土) ~ 27(日)		第5回就職ガイダンス(3回生) 留学生対象就職ガイダンス(3回生) 第6回就職ガイダンス(3回生) 第44回陵水懇話会(3回生)	
12	中旬		第7回就職ガイダンス(3回生)	第24回滋賀大学グローバルセミナー
	中旬		第8回就職ガイダンス(3回生)	
	17(土) ~ 1/3(火)	授業日(月曜日の授業) 冬季休業、集中講義		
1	4(水)	授業再開		第25回滋賀大学グローバルセミナー
	上旬			
	7(土)	補講日		
2	中旬			第26回滋賀大学グローバルセミナー SFA(学生・教員協議会)
	13(金) ~ 15(日)	休講及び入構禁止(大学入学共通テスト準備及びテスト) 補講日		
	21(土) ~ 27(金)	秋学期授業終了 秋学期試験(予備日を含む)		
3	28(土) ~ 2/10(金)	入構禁止(前期日程入学試験準備及び試験)	彦根キャンパス学内就職セミナー【学内合同企業説明会】(3回生)	第27回滋賀大学グローバルセミナー 卒業祝賀会
	下旬			
	24(金) ~ 26(日)	入構禁止(後期日程入学試験準備及び試験)		

(注) 変更される場合があります。

これらに関するごは、
こちらへお問い合わせ
ください



<p>○授業・休学・退学に関するごは</p> <p>学務課教務係 0749-27-1031(ダイヤルイン)</p> <p>学務課大学院係 0749-27-1032(ダイヤルイン)</p>	<p>○学生生活・クラブ活動等に関するごは</p> <p>学生支援課学生支援係 0749-27-7530(ダイヤルイン)</p> <p>○授業料免除・奨学金に関するごは</p> <p>学生支援課学生支援係</p>	<p>○就職・進学に関するごは</p> <p>学生支援課就職係 0749-27-1021(ダイヤルイン)</p> <p>就職支援室 0749-27-1033(ダイヤルイン)</p>	<p>○留学に関するごは</p> <p>国際交流課 0749-27-1430(ダイヤルイン)</p> <p>○修学上の支援に関するごは</p> <p>障がい学生支援室 0749-27-8166(ダイヤルイン)</p>
---	--	--	--